事務事業調査 平成23年度	No 349	課名 健康推進課	起案者 杉本エミ子
事業種別 市民サービス		係名 母子保健係	決裁者 深津隆
事務事業名 乳幼児健診事業		区分 継続	業務一覧No 13, 15, 16, 17, 20, 28, 29
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
	1 健康	予算科目(款・項・目)	20-5-40
	2 母子保健	総合計画以外の計画	健康日本21安城計画、次世代育成支援行動計画
	2 乳幼児の健康の保持増進	関連する総合計画の施策	
	1 乳幼児健診	法定受託事務	無
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの(義務的)		
根拠法令	有 母子保健法 第1章 第1条、第5条、第2章 第12条・第13条		
実施方法	直営 委託先		
実施期間	開始 経過 終了		期間
公約・議会答弁	有 H21年3月 療育行政について(障害児早期発見のため健診受診率と受診結果)		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	乳幼児とその保護者が	~になる	異常の早期発見、育児不安の軽減、健康の保持増進ができる。
事務事業の内容	幼年期において身体発達及び精神発達の面から最も重要な時期である1歳6か月・3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的健康診査を実施してその結果に基づき、指導・相談を行います。また、乳児期における4か月健診、医療機関での1歳未満の無料健診2回により、異常の早期発見に努め、乳児の健康の維持増進を図ります。身体発達及び精神発達について保護者とともに確認し、また、保護者の育児上の困難について不安を軽減解消できるよう支援することで虐待予防に努めます。			
事務事業進捗状況	4か月児健診：年48回水曜日 H21対象者2145人、受診者2096人 H22対象者2066人、受診者2016人 1歳6か月児健診：年48回金曜日 H21対象者2161人、受診者2060人 H22対象者2046人、受診者2007人 3歳児健診：年48回木曜日 H21対象者2041人、受診者1903人 H22対象者2007人、受診者1940人、乳児健診：医療機関で2回実施 H21受診者1回目1593人、2回目1321人(4月～1月) H21受診者1回目2058人、2回目1744人(4月～3月) H22受診者1回目1974人、2回目1601人〔委託料(2月～1月分)償還払い(4月～3月)〕			
改善・対策の履歴	H18からボランティアを増員し、問診票の項目を増やし、また、待ち時間利用の栄養相談受け入れ体制を整えました。H19途中から心理相談員、集団指導の保健師も問診に加わり、H20途中から問診項目を増やし発達、母子の状況がわかるようになりました。保健師1人増員し、市民の対応がより一層できるようにしました。H21には一貫した市民サービス提供のため健診に携わる職員の行動マニュアルを作成しました。H23に改正される愛知県母子健康診査マニュアルに対応するために、H22には母子健康カード、問診票の様式変更、システム改修をしました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	67,402	65,327	68,626	63,128	69,409	66,007	74,554
財源計 a	46,393	45,749	49,123	42,420	46,744	42,739	49,404
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	46,393	45,749	49,123	42,420	46,744	42,739
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	21,009	19,578	19,503	20,708	22,665	23,268	25,150
内訳 従事職員数	2.79	2.60	2.59	2.75	3.01	3.09	3.34
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	3歳児健診	見込(単位)	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績b(単位)	48.00	48.00	48.00		
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	17,194	17,401	17,457	
			単位コストg=f÷b 実績	358.21	362.52	363.68		
	活動②	活動名(活動内容)	1歳6か月児健診	見込(単位)	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績b(単位)	48.00	48.00	48.00		
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	17,356	18,657	18,804	
			単位コストg=f÷b 実績	361.58	388.68	391.74		
	活動③	活動名(活動内容)	4か月児健診	見込(単位)	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績b(単位)	48.00	48.00	48.00		
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	9,470	10,036	10,491	
			単位コストg=f÷b 実績	197.29	209.09	218.56		

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	3歳児健診受診率(%)	見込(単位)	94.70	94.80	95.00	95.20
			実績(単位)	92.00	93.20	96.70	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	95.60	目標達成年度		平成25年度	
	成果2	1歳6か月児健診受診率(%)	見込(単位)	96.50	96.70	96.80	96.90
			実績(単位)	95.40	95.30	98.10	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	97.10	目標達成年度		平成25年度	

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	<p>上の子の帰宅時間と重なるため、落ち着いて健診を受けることができず、途中で帰られる方がいました。担当医師の遅刻により、市民に迷惑をかけることがありました。市民ができるだけ早く帰れるよう、スタッフが丸となって健診が円滑に進むよう配慮しました。また、一貫したサービス提供のため、行動マニュアルに則してスタッフ全員の行動を統一するようにしました。相談を受けることにより、社会資源の提供ができ、相談を要する保護者への適切な対応ができました。4か月児健診の事故予防の媒体について意見がありました。</p>

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	H19から、健診が円滑に運営できるよう、ボランティアが健診対象者やその兄弟等を見守る取り組みを実施し、人件費の削減を図りました。H22は、愛知県母子健康診査マニュアルの改正に伴い、様式の変更やシステム改修のための検討見直しに時間を要したため、各健診とも単位コストは上がっています。
成果1,2	4か月児健診は、1歳6か月時健診、3歳児健診に比べ、受診率が高くH22は横ばいでした。1歳6か月児、3歳児は正確な対象者管理をしたことで、ともに3%程度受診率を上げることができました。電話、手紙、訪問等で受診勧奨をしていますが連絡が取れず未受診となる子が例年あります。夫婦共働きの世帯も多く、仕事を休むことが困難なため受診できない家庭の事情があるように感じられます。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	<p>平成23年度の母子健康診査マニュアルの改正に伴う変更点を各スタッフに周知し、健診事業が円滑に進められるようにしていきます。乳幼児健診は保護者と接する貴重な機会となります。保護者の育児に対する思いを聞き、その後の育児支援につなげていきます。また、未受診者への受診勧奨、状況把握を確実に伝える方法を検討し、状況を把握し、必要ならば支援につなげていけるようにしていきます。健診スタッフのスキルアップも含め、勉強会を開催し、健診精度を上げることで、支援の必要な子が早期から支援を受けられるようにしていきます。</p>

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	<p>健診には、異常や発達の遅れなどを早期に発見し必要な治療、支援へつなげることばかりでなく、育児支援も求められています。健診を丁寧に実施すれば時間とコストがかかることとなります。人的配置、健診の流れの効率化を常に研究し、また、フォローや未受診対策についても確実に伝えるような方法を検討しながら継続実施していきます。</p>